

2025.12.2 社会学 (田中重人)

## 第6講「イデオロギー」

1. 前回宿題について
2. 文化資本
3. イデオロギー
4. 宿題

# 【文化資本とは】

## Cultural capital

上流階級に浸透した趣味，嗜好，活動の習慣や，それを可能にするモノの蓄積

教科書 p. 104

※ 資本 (capital) は、「重要なもの」の意であるが、特に経済活動における生産手段を指す

# 【イデオロギーとは】

## ideology

国家や階級構造における支配集団が自らの正統性を被支配集団に承認させるような信念体系

教科書 p. 37

※ Idea: 考え

Ideal: 理想

- 文化資本を支配者の要件とする思想
- カリスマの資質としての文化資本
- 近代社会における隠された機会不平等  
(教科書 p. 98-100)

- 現行の支配体制を正当化する文化
- ナショナリズムの資源としての文化資本
- 自己増殖する「資本」としての文化

# 【イデオロギーの二重構造】

- 法的正当性を持つ支配体制は正当である
- 現在の支配体制は法的正当性を持つ
- したがって現在の支配体制は正当である

# 論証の二重構造

- 人間は必ず死ぬ (一般論)
- ソクラテスは人間である (具体的データ)
- したがってソクラテスは必ず死ぬ (結論)

# 【次回までの宿題】

## 課題 7: メディア

教科書 240 ページに出てくる航空会社の事例は、どのような意味で「アーキテクチャ」だといえるか。考えるところを述べよ。